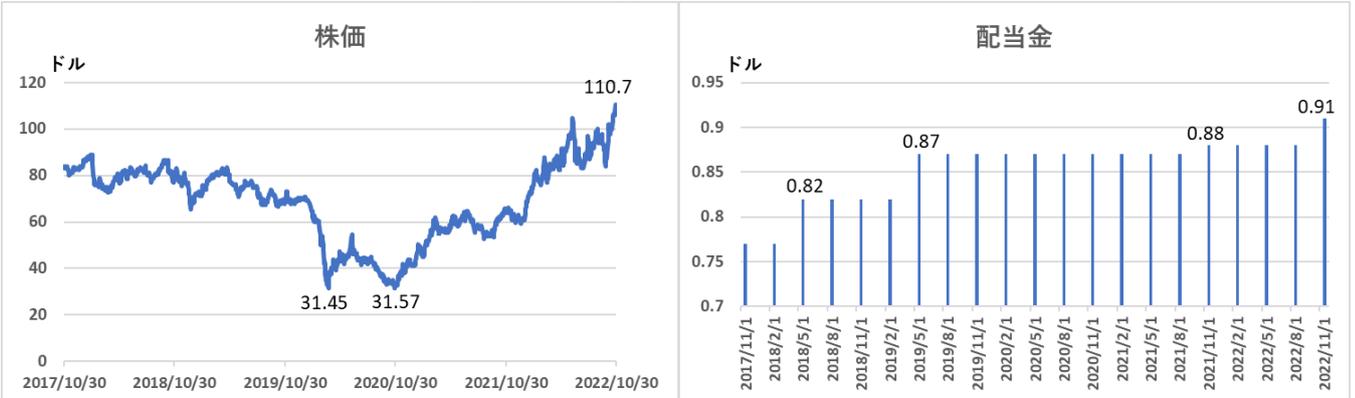


ATTENTION

ある米国銘柄の軌跡に、その矜持を見る



この株価と配当金のグラフは、かのジョン・D・ロックフェラーが創立したスタンダード・オイルを発祥とするエクソン・モービルの過去5年の推移です。このグラフで、歴史を長くする一流の会社がいかに経営して、株主を見ているかをお見せしましょう。エクソン・モービルの株価は2019年までは比較的安定して推移していたのですが、2020年に入り、コロナ感染拡大による原油需要急減、一時原油先物価格がマイナスになる大幅な原油価格下落により、株価は30ドル前半まで急落し、あげくは92年続いたダウ30種平均の構成企業から外されました。そのときの株価で、配当利回り11%を超え、38年連続増配記録は止まるだろうと見られました。ここで、当時の配当金のグラフを見ると、2019年5月から10四半期続けて1株0.87ドルで横ばいとなっています。一方で年単位で見ると、2019年3.43ドル、2020年3.48ドル、2021年3.49ドルと、算定期間の最後になる2021年11月に0.87ドルから0.88ドルに1セント上げ、かろうじて39年連続増配としたのです。2020年決算が220億ドルの巨額赤字の中で、ほぼ意地で増配を死守した形です。そして、直近のエクソンの2022年第3四半期決算は、純利益が前期比約3倍の200億ドルと、最高益を上げるまでになりました。エクソンは今年、自社株買いと配当で300億ドルを株主に還元する方針です。このエクソンの数年の動きを見ていると、化石燃料への逆風が吹く中で、天然ガス、シェール開発、海底油田といった案件には着実に投資を続け、一方で再生エネルギー、脱炭素、気候変動対応にも巨額投資をしています。またエクソンは、いち早くロシア、サハリン石油開発からの撤退を発表、経営陣の腰の据わり方、経営に取り組む姿勢の強さを感じます。我々が、こういう会社から学べることは非常に多いです。

COLUMN

よい上昇スパイラルをつくる

多くの人がストレス、不安を抱えています。それらは抑うつ感をもたらします。そして、スパイラル的に増幅してしまうことがよくあります。これを抑えてよい方向にもっていく方法があります。それには、ちょっとした心がけが必要なのですが、慣れればどうということはありません。いい癖、いい習慣を身につけて、それを続けるということです。その方法をいくつか紹介しましょう。

1. 運動は気分を明るく、前向きにします。散歩、ヨガ、筋トレ、テニス、水泳、ジョギング。どんな運動でも続けることで、気持ちの「上昇スパイラル」が出てきます。よく眠れるようになり、より集中でき、人と接しなくなります。ドーパミン、エンドルフィンなど、気分が高まるよい化学物質を放出するのです。
2. 毎年、毎週、毎日のよい計画、具体的な目標をつかって、達成に向けて集中します。
3. 十分な良質な睡眠をとることです。就寝するときはスマホはやらず、考え事はしないで、静かにベッドに入る。そして早寝、早起き、十分な睡眠を心がけます。直射日光に当たると、よく眠れます。
4. 人間は社会性がある動物なので、よい人間関係を持ち、感謝の念を持つと、これまたドーパミンやセロトニンを発するそうです。
5. よい習慣をつけ、繰り返すことが大事。脳はいったん癖がつくと、よい、悪いに関係なく、何でも繰り返します。だから簡単についてしまい悪い習慣をなくして、よい習慣を身につける。脳は何十億もの神経が電気信号を送り、伝達のための化学物質に反応するだけなので、いったん身に付くと、脳に植え付けられ、難なく続けられるというわけです。参考図書：The Upward Spiral

MARKET

(10月末)

(9月末比)

日経平均

27,587.46円 ▲ +1,650.25円
(+6.36%)

NYダウ

32,732.95ドル ▲ +4,007.44ドル
(+13.95%)

米ドル

148.80円 ▲ +4.00円
(+2.76%)

私の書棚より

繰り返しの修練。続けたところにいのちがある。なんでも長い間続けると、そこにいのちが現れてくる。

-神道<いのち>を伝える 葉室頼昭

あの危ない仕組債販売は「顧客本位の業務運営」か？

このところ新聞等で、仕組債販売を相次いで停止するという報道が出ていますが、われわれ購入側は、油断してはいけません。手を変え品を変え、金融機関はこのような危ない商品を提供し、自分たちに利益が回るようになるからです。この仕組債販売も完全になくなるわけではなく、たとえば仕組債の販売ルールを設けるとか、顧客層に応じて仲介する商品を制限する検討を進めるとか、あいまいな対応をして、先延ばしを図ったり、煙幕を張ったりするのが常套手段です。要は、実入りのいい商売のタネはなかなか手放さないということです。

ちょうど12年前の私の下記メルマガをぜひご覧ください。仕組債の仕組みについても説明しています。この中で「この仕組債によって退職金や老後の資金が半分になってしまったケースがこの10年多発している」といっています。この10年とは、実に2001年からの10年です。

ライフプラン・資産運用の完全独立ファイナンシャルプランナー(FP)(東京都港区) - 2010/11/08 債券の発行形態 No.4ー日経平均連動債ー (bfsc.jp)

ということは、この「仕組債」は、今から20年以上も前から問題になっていたということです。それが、これまで野放しだったということ自体が、大変恐ろしいことです。実際に退職金や老後の資金が数分の一になってしまったというような取り返しのつかない被害を被った人はたくさんいます。金融庁は「顧客本位の業務運営」を基本方針に掲げ、業界は「フィデューシャリー(受託者責任)宣言」を軒並みして

きましたが、それは単なるアドバルーンだったということです。業界は胸に手を当てる、強く反省してほしいものです。金融庁はこのあたりで「顧客本位の業務運営」の進捗状況を厳しくチェックする必要があるでしょう。

金融庁は、毎年度、課題を変えて取り組むように見えますが、以前に掲げた大切な方針は、掲げただけで終わらせず、その進捗状況をチェックしたり、あるいは「顧客本位の業務運営」の定義を厳格なものに見直したりするような方策を取るべきです。真に国民にとって大事なテーマは、10年単位の時間をかけて徹底的に取り組むという腰を据えたスタンスを取らないと、いつまで個人の健全な資産形成の環境は期待できません。金融機関は、亀が首を引っ込めているように、ほとぼりが冷めるのを待っているようです。いわばイタチごっこ。マスコミも、担当記者が代わると、初めて問題が出てきたような内容の記事はいただけません。以前の過程や状況が切れているのです。20年以上前から事情を知っているものからは、うんざり感が出てくるばかりです。

こういう状況だから、真の資産運用ができる環境は、日本では「100年河清を待つ」ようなものという感を強くしてしまうのです。金融機関がおっかないから、お金は、現預金に寝かしておいているという人は多いでしょう。国民は「周りはだまされることで一杯」ということを、肝に銘じておく必要があります。一方で、業界は「何がフィデューシャリーか」をよく胸に手を当てる、大いに反省するべきです。

まかせて安心、資産運用のホームドクター

- 大切なお金を間違いのない方法で運用しているのか、心配になることはありませんか。
- 退職後のセカンドライフを、お金の心配なく、ゆとりを持ってお過ごしですか。
- 仕事が忙しくて、なかなか運用まで手が回らないということはありませんか。
- 銀行や証券会社が勧めるままに、株や投資信託を購入していませんか。

金融商品の中身や手数料がどうなっているか、きちんと把握していますか。

びとうファイナンシャルサービスは、金融機関から完全独立のFP・資産運用アドバイザーです。その強みを生かし、お客様に、客観的で、公正・中立なアドバイスを提供しています。手数料が高く売りやすい商品をお客様にもっとも適した金融商品やお客様にベストのアドバイスを提供しています。

びとうファイナンシャルサービスは、お客様の目標や夢の実現のため、40年を超える長い経験と深い専門知識、高い倫理観をもとに、お客様の利益のみに目を向けたサービスを提供しています。たとえるなら、多くのお客様の人生という航海で、無事に目的地に到着する大型客船であり、いつもお客様の資産運用という面で健康管理をするホームドクターです。



びとうファイナンシャルサービス
代表 尾藤 峰男
公認投資助言者(RIA)

びとうファイナンシャルサービス 公式HP

<http://www.bfsc.jp>

あなたの資産運用を成功に導くメルマガ！

お申し込みは <http://www.bfsc.jp/mailmagazine/>

発行者：びとうファイナンシャルサービス
代表取締役 尾藤峰男

電話：03-6721-8386
携帯：070-5567-3311 電子メール：info@bfsc.jp